

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
13	岐阜各務野高等学校

<p>学校教育目標</p>	<p>強くたくましい心身や豊かな人間性と社会性を育むとともに、社会の要請に対応した高い専門性を有する人材の育成を目指し、一人一人が自己実現を果たすことができる基礎的な能力と態度の育成に努める。</p> <p>1 社会の変化に対応し、地域産業の発展を担う人材の育成に努める。</p> <p>(1)ビジネスや経済の諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展を図る総合的な能力と実践的な態度の育成</p> <p>(2)情報社会で活躍できる創造的な能力と実践的態様の育成</p> <p>(3)人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の増進に寄与できる創造的な能力と実践的な態度の育成</p> <p>2 豊かな人間性と高い倫理観を育み、積極的に社会に貢献できる人格の形成に努める。</p> <p>3 学習や部活動を通して、生涯にわたり健康で明るく豊かな生活が送れるよう心身の健全な発達に努める。</p>		
<p>スクール・ポリシー</p>	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（G P）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス科 ビジネスマナーを身に付け、商業の各分野について高度な知識と技術を身に付けるとともに、想像力豊かでビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる生徒 ・情報科 デジタルクリエイターとして、Society5.0 で実現する新たな社会において情報を活用し、情報に対する新たな価値を創造することができる生徒 ・福祉科 福祉に関連する職業に従事する上で必要な資質・能力を身に付け、より良い福祉社会をめざすため主体的かつ協働的に取り組むことができる生徒 	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（C P）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス科 「礼節と礼儀を大切にした商業人教育」と「商業の専門性を深める探究的な学び」を両輪として、経済社会で活躍するために商業の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学びの推進 ・情報科 情報産業に関する事象について、主体的に課題を発見し、ICT機器を活用しながら科学的で論理的な方法で創造的に解決していくための探究的な学びの推進 ・福祉科 実践的・体験的な学習活動を行うことを通して学ぶ意欲を高め、福祉に関する課題を発見し、職業人として求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する学びの推進 	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（A P）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス科 商業の諸活動に興味・関心があり、資格取得に意欲的に取り組む姿勢をもつとともに、経済社会に積極的に参画しリードできる人材になりたいと考えている生徒 ・情報科 情報科の学習（プログラミング・映像制作・イラスト制作・アプリ開発・Web デザイン・ネット配信等）に深い興味・関心があり、その知識や技術の習得に努力を惜しまない生徒 ・福祉科 福祉に関して興味と関心をもち、将来の職業として福祉に関わる職業を希望している生徒 ・部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に主体的に活動し、自己の成長や仲間とのつながりを大切にしようとする生徒

教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
<p>1 学校経営</p> <p>生徒・保護者・地域と連携し、生徒の自己実現と地域社会の持続可能な発展に貢献できる開かれた学校経営を進めます。</p>	<p>①「学校運営協議会」制度を活用し、学校の「教育目標」や「スクール・ポリシー」を踏まえた「学校経営計画」を策定します。協議の結果をHPで公開するとともに、生徒保護者アンケート等の結果を次年度の教育計画に反映させる等、透明性を持った学校経営を進めます。</p> <p>②風通しのよい職場環境を作るため、職員がお互いにコミュニケーションを多く持つようにするとともに、ハラスメント調査、ストレスチェック、丁寧なヒアリングを行います。</p> <p>③職員一人一人が業務改善の意識を持ち、時間外勤務時間の削減に取り組みます。</p>	<p>①生徒・保護者等対象アンケートの実施と分析、学校運営協議会での委員ご意見等</p> <p>②ハラスメント調査、ストレスチェック、ヒアリングの結果</p> <p>③出退勤システムによる時間外在校時間の集計結果</p>
<p>2 教科指導</p> <p>専門学科で学ぶ意義を理解させ専門分野の学習を深めさせるとともに、地域や産業との関わりを通して専門的な知識や技能の定着を図ります。</p>	<p>ビジネス科</p> <p>①社会で信頼される人になるために、商道德を大切にしたい心を養い、ビジネスマナーを身に付けコミュニケーションを円滑に図れる人材に育成します。基礎基本の定着を図って商業教育の土台を作りより高度な専門知識を習得できる授業を展開します。</p> <p>②タブレット端末とデジタル教材の利点を活かした授業を行いより分かりやすい授業を展開します。検定試験に向けた学習では、ネット教材も活用することで問題演習を多く行い、高度資格取得へとつなげます。</p> <p>情報科</p> <p>①専門的な学習を積み上げる Semester方式を採用し、「学習計画・記録表」等を活用することで基本的な学習姿勢を育成します。また、その成果を高度な検定(CGクリエイター検定ベーシック・ITパスポート)に合格することで生かします。</p> <p>②新しい「情報化教育の推進」を踏まえ、情報科のすべての授業で、タブレット端末を最大限に活用することで、学習記録の管理や、成果物への運用ができるようにします。</p> <p>福祉科</p> <p>①大学や福祉分野の専門家による講演会等を活用し専門職としての知識や技術、態度を身に付けさせ、介護福祉士国家試験及び保育技術検定取得に挑戦します。</p>	<p>①生徒による授業評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を踏まえた授業が行われている。→80%以上 <p>②難関試験の合格者が昨年度より増加する。</p> <p>①検定1種目以上取得→100%</p> <p>②生徒による卒業時アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校に入学してよかった→80%以上 <p>①介護福祉士国家試験等合格→100%</p>

	<p>②実習の意義を理解し、介護・保育実習及び地域交流（高齢者施設、保育所や幼稚園等）を積極的・計画的に実施することにより、福祉分野の職業観・倫理観の向上を図ります。</p>	<p>②実習受入機関と連絡を密に取り、実習内容や目的の共有ができているか ②実習先への就職につながっているか。</p>
<p>3 生徒指導 豊かな人間性と高い倫理観を意識させ、生涯にわたり豊かな人間関係を築く礎となる力を身に付けさせるよう、ホームルーム活動や学校行事の充実を図ります。</p>	<p>①全職員が生徒一人一人に声を掛け、積極的に関わりをもちながら清楚な身だしなみ、主体的な挨拶、時間厳守を促し、生徒の基本的生活習慣を育成します。 ②生徒の様子や懇談、心のアンケート、いじめに関するアンケートなどから、支援や配慮を必要とする生徒を早期に把握し、学年と教育相談担当が中心となり、学校全体で組織的に連携を図り対応します。 ③「情報モラルセミナー」や「ひびきあいの日」において、人権教育に関わる生徒主体の話し合いの場を設け、お互いが協力し尊重しあえる人間関係の構築に努めます。</p>	<p>①校内年間遅刻総数→昨年度比20%減 ・生徒、保護者等対象アンケート結果、評価 ・学校運営協議会委員の意見、評価 ②相談件数・相談状況 ・生徒、保護者等対象アンケート結果、評価 ③セミナー後の感想文、いじめに関するアンケート等 ・生徒、保護者等対象アンケート結果、評価 ・いじめ認知件数の増加</p>
<p>4 進路指導 自己の在り方生き方を考え生徒が主体的に取り組み、進路決定できるキャリア教育を推進します。</p>	<p>①進路適性の理解と進路選択・決定能力を育成します。 ②望ましい勤労観・職業観と態度を育成します。 ③適切な進路情報の提供・進路相談の充実により、専門高校としての進路支援体制を確立するとともに、ふさわしい進路実現を支援します。</p>	<p>①進路希望調査における職種・学部等の未定者ゼロ ②インターンシップ参加者の増加（昨年度のべ108人） ③今年度より開始した「ICTを活用した個別最適な学び」における自主的な課題取組状況</p>
<p>5 保健指導 生命の尊重と健全な心身を育み、明るく健康な生活を営む力を身に付けさせるよう、学習や部活動への取組みを推進します。</p>	<p>①救急救命講習、命を守る訓練（年3回）、防災LHRを通して、自らの生命を守る力を身に付けます。 ②毎朝生徒の健康観察を実施することで、感染症を含む疾病等の早期発見と予防に努めます。</p>	<p>①継続実施状況率→昨年度比 ②校内年間欠席総数→昨年度比</p>
<p>6 部活動 部活動に対し真摯な態度で取り組み、実践しようとする態度の育成に努めることで、人間としての在り方についての自覚を深め、生徒一人一人の成長を促します。</p>	<p>①部活動を通して、仲間づくりや身体づくりを促し、最後までやり抜く精神力を養います。</p>	<p>①3年間継続状況率→昨年度比同率 ②全国・東海大会出場チーム、個人→昨年度比同率 ③部活動毎で学校行事等の協力やボランティア活動等の参加数→昨年度比増加</p>